



国土交通省・道路局長への要望

5/19~6/4

国土交通省などへ要望活動

国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会(会長 松本崇市長)は、国、県へ出向き、国道34号大村拡幅、都市計画道路の早期完成などの事業促進について要望活動を行いました。

国土交通省は、「財源が厳しくなるなか、一般国道34号大村拡幅事業の予算確保は順調に行っている。国立医療センター入口交差点と与崎交差点は平成22年度完成に向けてこれからも全力を挙げて事業を推進したい」と話されていました。

期成会では、引き続き各方面との協力体制を強化し、全区間の早期完成を目指し要望活動を行うことにしています。



6/22

グリーンカーテン植栽式

市では庁舎壁面をつる性植物で覆い、夏場の直射日光をさえぎり、冷房機の運転経費を抑えてCO₂削減につなげる、グリーンカーテン事業として植栽式を行いました。

この日は、職員総出で本庁舎南側壁面の花だんに、アサガオ、ゴーヤ・ヘチマの苗を植え、翌日には壁面一面にネットを設置しました。

グリーンカーテンの効果を実証されれば、市内の他の公共施設にも広げることになっています。



6/29~7/8

地区別ミーティング

市民の皆さんから直接市に対するご意見ご提案をお聞きする地区別ミーティングを市内8地区で開催しました。

地区別ミーティングには、市長をはじめ各主管部長などが出席し、今年度の主な事業①新型インフルエンザ②ガン検診③国民健康保険税④おむら市民のつばさ⑤消費生活センターの開設を説明し、引き続きフリートークを行いました。

今年から多くの皆さんに参加してもらおうと、8地区のうち夜間開催を3地区に増やしました。各地区とも多くの市民の皆さんが参加され、貴重なご意見やご提言をいただきました。

詳しくは、広報おむら9月号でお知らせします。



7/5

ゲームを通して災害体験「災害クロスロード」

菅瀬ダム記念会館で、地元の住民や消防団員を中心に「黒木町災害クロスロード」研修が行われました。災害クロスロードとは、阪神淡路大震災の体験をもとに作成され、災害時の対応や判断をカードゲームを通して参加者同士でさまざまな意見や価値観を共有しようという研修です。

参加した皆さんは災害時を想定し「自分ならどうする?」「日ごろどう備える?」など、熱心な意見交換を行いました。

市では今後同様の研修を市内各所で開催し、災害対策に役立ててもらおうことにしています。